

富田地区まちづくり協議会地域主体型交通導入案

住民アンケート結果

- ・ 移動に困っている方 277人/2,876人 9.6%
 (日吉地区) 132人/2,517人 4.4%
 (宇仁地区) 85人/1,652人 5.1%
- ・ 沿線世帯あたり公共交通最大需要量
 15.45回 > 2回
- ・ 買い物、病院に困る。
- ・ 週1～2回くらいの頻度以上で
- ・ 行きたい場所は？
 ①イオン、②加西病院、③コープかさい、
 ④おりた外科、⑤コーナン、⑥佐竹医院
- ・ どの時間に？
 行き 8時～10時、帰り 11時～14時
- ・ どの曜日？ 月、火
- ・ 100m以上歩ける 81%
- ・ 料金 100円～300円



導入検討状況

- ・ 運行曜日 : まずは月・火のみから
- ・ 運行時間 : 8時～15時と設定
- ・ 利用料 : 1回 200円程度
- ・ 車 : 市が購入し、無償貸与(7人乗りのミニバン)
- ・ 運行方式 : 定時定路線(富田北線と富田南線の2路線でどうか)
- ・ 事務所 : 富田ふれあい館
- ・ 運行制限 : 市街地への乗り入れについては、既存公共交通(路線バス)が乗り入
 れていない時間帯にのみ可能とする。
- ・ 運行範囲 : 富田地区の指定したバス停。
 地区外は、イオンモール加西北条でねっぴ～号に結節←検討事項
- ・ 利用対象者 : 富田地区住民とその親族
- ・ 運転手 : 地区より選出(時給1,000円を予定)。事前講習あり

■ 移動に困っている人（公共交通需要）の集計結果【富田地区全域】

- 凡例**
- 移動に困っている人が2名いる世帯
 - 移動に困っている人が1名いる世帯
 - 移動に困っている人いる世帯（人数不明）
 - 移動に困っていない人がいない世帯

移動に困っている人数 : 277人
 公共交通最大需要量※ : 17,740回/年
 当該地域の世帯数 : 1,148世帯
 (うち、回答世帯数: 705世帯)
 世帯当たり公共交通最大需要量: 15.45回/世帯・年

※「公共交通最大需要量」とは、外出する際に移動に困っている人が、外出したい時に公共交通を利用したと仮定した場合における公共交通利用者数を示す。(移動に困っている1人当たりのアンケート調査の「外出頻度」を年換算した、移動に困っている人全体の回数の総計)
 ※住所不明世帯については、各町の公民館に集約して記載。
 (赤字: 移動に困っている人がいる世帯、青字: 移動に困っていない人がいない世帯)

